

地理探究 ～地形～

【 河岸段丘 】

学籍番号（2年） 女子

場所

◎河川沿い

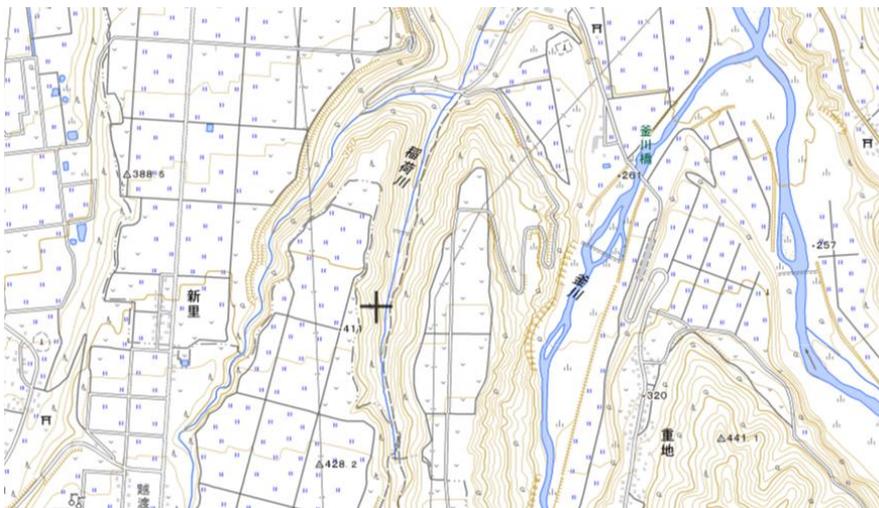
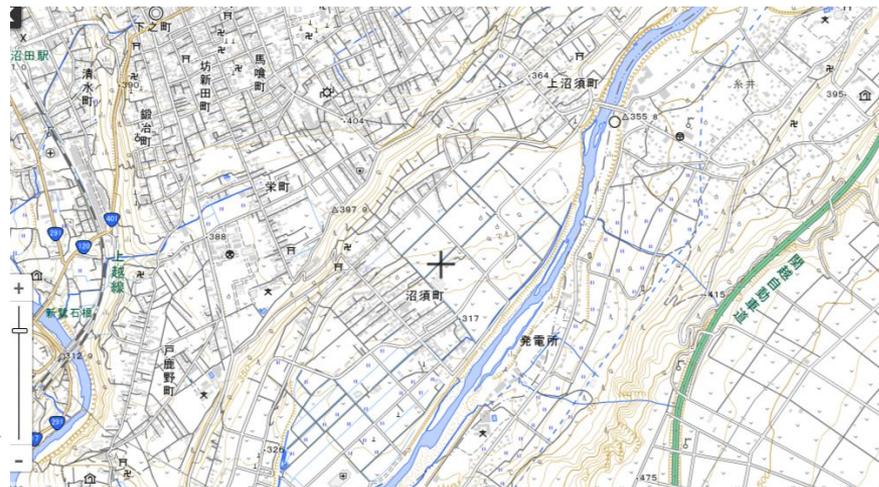
(主に河川の中・下流域)

谷底平野内に河川ができる

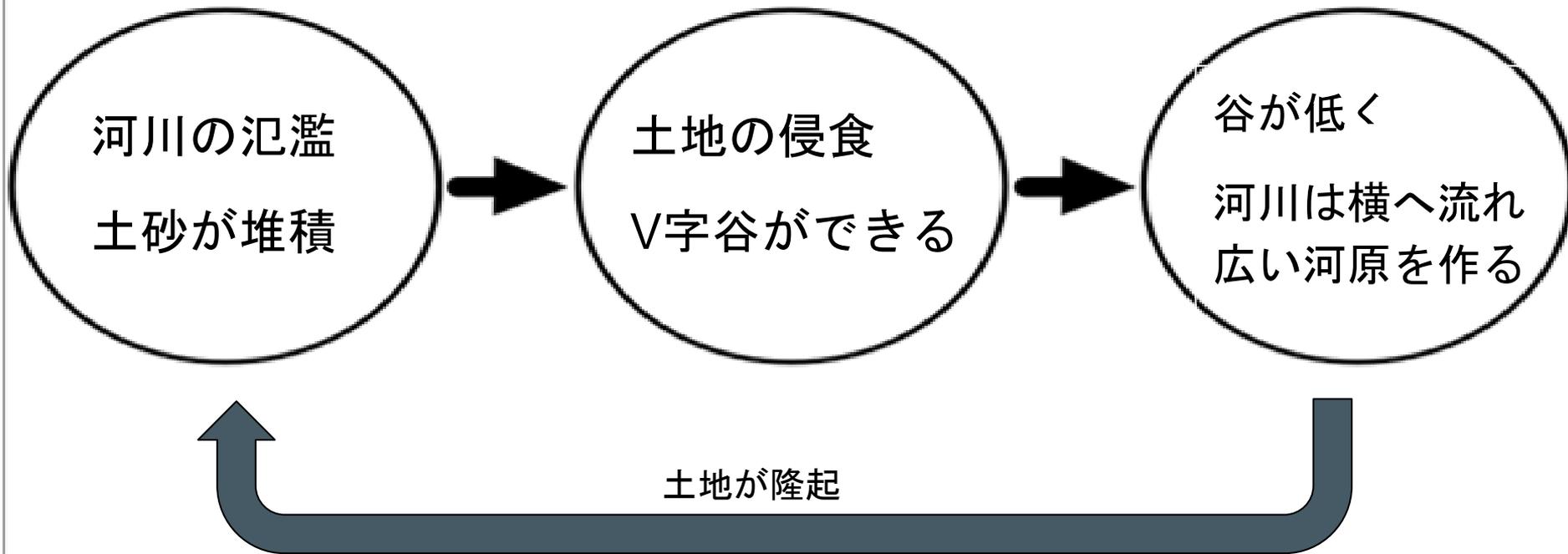
ex) 新潟県津南町

群馬県沼田市

石川県金沢市 犀川流域



形成方法

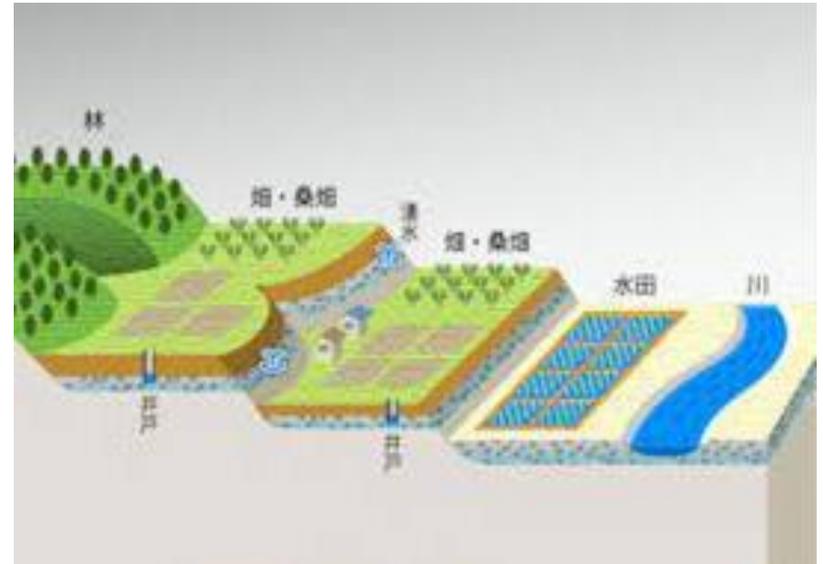


特徴

- ・ 川に沿って、片岸もしくは両岸が階段状になっている
- ・ 平らな土地（段丘面）と急な崖（段丘崖）が交互に形成
- ・ 高い位置にある段丘ほど、古い時代に形成されている

人間の生活

- ・ 上位段丘面...地下の水位が低く水を得にくいため、畑地が多かった
⇓
集落や水田にも
- ・ 下位段丘面...比較的水が得やすい
ため、水田に
- ・ 段丘崖...多くは林地
上り下りのため道路が婉曲
しているところも



深めたいこと

- ・ 段丘崖の使い道

多くの土地で森林として使われている

⇒ 斜面を生かした土地利用ができるのではないか？

- ・ 土地の隆起によって河岸段丘の地形は形成される

⇒ 隆起が起こらなければ、ずっと段丘ができ続けて低くなって

いくままなのかもしれない